

総務産業常任副委員長 平出 広志

1 岩手県滝沢市 滝沢市役所若者活躍推進室

「若い世代の行政参加の取り組みと評価について」

市内に岩手県立大学と私立盛岡大学合わせて約 4000 人の学生が集う特徴を活かし、令和 5 年度に若者活躍推進室を設置し、若者が望む生き方を実現すべく事業を展開している。

学生が市民や関係団体とつながり、まちづくりや地域活性化に資することを目的として、コミュニティ施設の運営補助、観光情報発信補助、YouTube 等 SNS による情報発信等市役所での学生アルバイト（会計年度職員）として市の地域づくりに若者の視点で企画運営に携わっている。

また、学生就活カフェ、One-day インターンシップの開催等学生と市役所の距離を縮める取り組みも行っており、愛着を持ってもらう取り組みが学生の市内定着の動機づけに大いに役立っていると感じた。

2 岩手県滝沢市 ビッグルーフ滝沢

「大ホール、会議室、図書館、観光案内、産直、レストランなどの滝沢市交流拠点複合施設」

滝沢市の中心拠点複合施設として、平成 29 年 4 月にグランドオープンした施設。この施設は、すべての人の活動の場となる ホールや会議室などの「コミュニティセンター」、地域の産業振興の場となる 産直、物販、飲食エリア「たきざわキッチン」、利用者の知となる「湖山図書館」で構成されている。様々な施設が複合化することによる新たな交流が生まれるのではないかと、箕輪町に於いても参考となる。

3 岩手県紫波郡紫波町 オガール企画合同会社

「オガール循環型まちづくり・環境コース」

4 岩手県紫波郡紫波町 紫波町役場

「NFT を活用したデジタル戦略について」

2022 年全国に先駆けて、町議会全員協議会において「Web3 タウン」の取り組み推進を表明した。

地方自治体が突然この取り組みを議会で表明できたことにだいたい驚きを覚えたが、この取り組みの発案者が紫波町出身の菅原壮弘氏が代表を務める「SOKO LIFE TECHNOLOGY」が Web3 領域の技術を活用し、地域活性化に向けた取り組みを行い、住民サービスの向上や地域課題の解決等を図る取り組みであることを知り、ようやく納得できた。平成 19 年に公民連携のまちづくりをスタートした紫波町ならではの取り組みである。

メタバース、NFT（ノン・ファンジブル・トークン）、メタバースなど

5 岩手盛岡市 木伏緑地

「公設の都市公園。公民連携・民間主導による管理」

都市公園法の改正により創設された Park-PFI 制度を活用した民間のアイデアを活用し、公園利用者の利便性につながる施設と公衆用トイレを整備した事業。

市街地では存在しなかった芝生広場と飲食店の出店により利用者の多様な使い方が見られ、公園本来のあ
るべき姿を実現している。

盛岡駅前エリア、大通りエリア等をつなぐ結節点となり、賑の創出にも効果をあげている。

別途、中央公園整備事業「BeBa TERACE プロジェクト」を個人的に視察した。

約 2.1ha の公園未整備区域を「あそびを学び、まなびを遊ぶ」を事業コンセプトに保育園、フリースク
ール、てつびん（南部鉄器）の学校、飲食店、産直市場が 4 事業者グループにより整備、運営されている。
民間のアイデアの活用が大いに生かされていることを確認できた。

今後も当町でも民間力の活用も考えていく必要性を感じた。

全体を通じて